

令和2年11月11日に産業建設委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

報告事項

・宿小山古墳の文化財の指定について

～内容～

総社市文化財保護審議会からの答申を受け、宿小山古墳を市指定重要文化財として指定することについて報告を受けました。

～質疑～

問： 宿小山古墳を今後どのように活用する予定か。

答： 宿小山古墳を市の重要文化財として指定した後は、指定区域を公有化し、文化財保護審議会や県の教育委員会と協議しながら整備を行っていきたい。

・新型コロナウイルス感染症経済対策状況について

～内容～

新型コロナウイルス感染症に係る市独自の経済対策の状況について報告を受けました。

～質疑～

問： 水道料金の無料化を実施したが、工業用水道の使用量が前年度と比べてかなり少ないと感じるが、新型コロナウイルス感染症の影響によるものか。

答： 操業ラインが止まり休業していた時期もあったことが影響していると考えている。

問： 新分野チャレンジ事業者応援補助金に34事業所が決定されたが、どういったことにチャレンジしている事業所が採用されたのか。

答： 縫製業の方が医療用ガウンの製造、自動車部品製造の事業者の方が医療機器の部品や自動車技術を応用したパーティションの製造、酒造会社の方が手指消毒液の製造、タクシー事業者の方が買物代行業といった分野にチャレンジしている。

・ 総社移住・創業サポートセンター（仮称）について

～内容～

移住・創業サポートセンター事業について、今年度末に廃止される吉備信用金庫東支店を活用して相談窓口やサテライトオフィスの貸出等を実施することについて報告を受けました。

～質疑～

問： サポートセンターの運営主体はどうか。

答： 吉備信用金庫東支店の建物を拠点に事業を進めていく予定だが、事業運営に係る費用については総社市、吉備信用金庫、総社商工会議所、総社吉備路商工会とで負担をしていく予定である。基本的には吉備信用金庫の職員が1人常駐する予定で、人件費と施設管理については吉備信用金庫に負担をお願いするが、事業費については4者で負担割合を決め、運営委員会を立ち上げて実施していこうと考えている。

・ 南北道の整備について

～内容～

（仮称）神在秦本線及び刑部支線3283号道の南北道2路線の道路整備について、現在の状況及び今後の見通しについて報告を受けました。

～質疑～

問： （仮称）神在秦本線は、5.5mの車道になる予定だが、センターラインや速度規制等はどうか。

答： 道路を設計するためには計画交通量を定めるが、この路線については1,400台程度と見込んでおり、2車線必要となるのでセンターラインは設置される。また設計速度は40kmとしているが、地元で意見を聞きながら規制については警察が判断することとなる。

問： 刑部支線3283号道は非常に交通量が多いが、両側歩道にできないか。

答： 岡山自動車道の橋台の間を通るため道路を拡幅することが難しいこと、歩行者や自転車の通行量が比較的少ないことに鑑み、片側歩道としている。他の交通安全対策についてもしっかり講じていく。

・市営住宅集約化事業について

～内容～

市内に 13 箇所ある市営住宅のうち、老朽化した市成住宅、井手住宅、真壁住宅、天原住宅、美袋上住宅及び美袋浅井住宅について、他の市営住宅に集約化を図ることについて報告を受けました。

～質疑～

問： 該当の市営住宅に住んでいる住民の意見は聞いているのか。

答： 長く住み慣れているため、新しいところへ入っていくことに難色を示される方が多い。

・服部駅、岡山県立大学周辺の市街化編入に係る進捗について

～内容～

服部駅、岡山県立大学周辺の市街化編入に係る、国、県等との協議の状況及び今後の予定について報告を受けました。